

第24回

## 大自然に溶け込む めがね橋 その存在は別格

タウシュベツ川橋梁のその姿を初めて写真で見たと  
き、なんときれいなんだろうと思った。それと同時に  
なぜ？ここに？あるのかとても不思議だった。それは  
ずいぶん前に行ったイタリア・フィレンツェで見た古  
代ローマの円形劇場やヴェッキオ橋を見たときの感動  
と、同じくらいの感動だったからだ。アーチ型の建造  
物として大きさや刻んだ歴史は比べものにならないけ  
れど、大自然に囲まれたその佇まいは負けていない。

また、ここは線路のあった橋であり、土幌線があっ  
たということが今では信じられないが、このアーチ型  
の橋の上をSLが、煙をもくもくたなびかせて走って  
いく姿を想像すると、とてもワクワクしてしまう。

タウシュベツ川橋梁ができたのは昭和12年だ。タウ  
シュベツの意味は樺の木が多い川というアイヌ語から  
だ。戦前戦後、豊かな森の木を切り出し、運ぶために  
できた土幌線。糠平ダムの開発で昭和30年にはタウ  
シュベツ川橋梁を通るルートが使われなくなり、土幌  
線は昭和62年に全線廃止になっている。

糠平ダムができて、タウシュベツ川橋梁はダムに沈  
んだ。しかし、水量が少なくなる冬から春に再び、そ  
の姿を現す。2001年には北海道遺産となり「めがね橋」  
という愛称も付けられた。建造物として観光資源とし  
て注目されている昨今、保全運動も勧められているが、  
厳しい自然とダムに沈むことを繰り返すため、崩壊が  
危ぶまれているという。今のうちにその姿を何度でも  
見に行き、しっかり目に焼き付けておきたい。

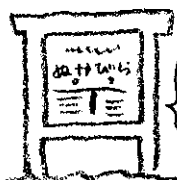
さて、コロナによっていろんな価値観が変わってい  
くように思う。どんな世の中であって、大地の上で  
心穏やかに、柔軟に描き続けたいと思う。



### すずき もも

イラストレーター・絵本作家／スローフードさっぽろリーダー

東京生まれ、北海道夕張育ち。広告や雑誌、カレンダーなどのイラ  
ストを描くほか、イラストで綴る町案内の本や絵本などを執筆。ほ  
か、「スローフードさっぽろ」を2016年に立ち上げ、食を中心に環境  
や暮らしの大事に取り組んでいる。著書に絵本「はるとなつ はた  
けのごちそうなーんだ？」(アリス館)「おいしい大地、北海道」(イ  
ースト・プレス)がある。近著に絵本「はたけのごちそうなーんだ？  
くだもの」(アリス館)がある。モットーは4つのS。「Simple,  
Slow, Small, Smile: ささやかに、ゆっくり、ほどほどに、にここ  
こと」。



トロッコ  
運行も\*

Y上士幌鉄道資料館  
旧国鉄糠平駅跡地  
に建っています。当時、  
使用していたものや車輛  
なども展示されています。

Yタウシュベツ川橋梁  
やその他のアーチ橋を  
見に行くなら、ツアーも  
あります。  
・むかし大雪自然ガイド  
センターやむかし大雪  
自然館へ！オヌヌです。



Yぬかひら  
温泉郷  
いろは宿の中  
で「中村屋」の  
朝食は特筆もの！  
また、部屋も37℃風呂  
も手造りなんですよ！

糠平湖周辺には  
一年を通して楽し  
める自然や温泉が  
いっぱい！

